

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 14日

中施策事業名	農排統合事業	部課名	経済建設部・下水道課
		作成者	青山 康德
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	農業集落家庭排水施設を流域関連公共下水道へ統合し、維持管理コストの削減が図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 農集排施設の統合に関する事業 ・ 交付申請（国・県）に関する事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
農排統合の進捗率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	100	100	100	0	0	0
	実績値	96	98				
	単位	%					
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和05年度	令和06年度	令和07年度	
① 総事業費 (a+b)				0千円	109, 599千円		
	a 事業費合計			0千円	109, 599千円	112, 743千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円	15, 000千円
③ コスト (①－②)				0千円	94, 599千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	1, 375 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画どおりに事業を進めることが適当 農排統合にかかる工事を一般競争入札によりコストを縮減したうえで入札を行い、工事を行った。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	早期に発注し工事請負者、関係機関、地域住民との綿密な調整を実施し、工事の完了を目指すとともに、適切な施工管理を行い、安全安心な下水道整備事業を実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 5月 21日

中施策事業名	公共下水道維持管理事業	部課名	経済建設部・下水道課
		作成者	青山 康德
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	公共下水道施設		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	適正な機能を維持する		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 下水道使用料に関する事業 ・ 下水道施設の維持管理に関する事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
修繕計画に基づく 進捗率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	90	100	100	0	0	0
	実績値	90	100				
	単位	%					
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				1, 203, 597千円	1, 166, 916千円	
	a 事業費合計			1, 203, 597千円	1, 166, 916千円	1, 257, 969千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人	
			b 金 額	0千円	0千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				5, 000千円	2, 500千円	23, 500千円
③ コスト (①－②)				1, 198, 597千円	1, 164, 416千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				17, 417 円	16, 920 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画どおりに事業を進めることが適当 公共下水道施設の適切な維持管理ならびに使用料徴収事務を実施した。施設の長寿命化を図るため、点検、調査、修繕等を効率的に行った。 また、令和7年度の豊明市下水道事業経営戦略の改定に向け、豊明市下水道事業経営検討委員会を開催し、下水道未普及地区の整備方針、下水道使用料改定の方角について検討を行った。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	適切な維持管理が可能となるように公営企業会計として持続可能な運営を行う。また、豊明市下水道事業経営戦略の見直しを行うとともに、使用料改定に向けた検討を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	下水道ストックマネジメント計画に基づく調査、設計及び維持管理修繕工事を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 7月 9日

中施策事業名	公共下水道建設改良事業	部課名	経済建設部・下水道課
		作成者	青山 康德
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	公共下水道施設		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	公共下水道施設を建設する。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 工事の設計管理に関する事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
下水道普及率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	78	79	80	81	82	83
	実績値	83	83				
単位	%						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和05年度	令和06年度	令和07年度	
① 総事業費 (a+b)				585, 485千円	536, 186千円		
	a 事業費合計			585, 485千円	536, 186千円	545, 888千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	7, 000千円	1, 230千円
③ コスト (①－②)			585, 485千円	529, 186千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				8, 508 円	7, 690 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A：計画どおりに事業を進めることが適当</p> <p>下水道の建設事業は公共水域の水質保全と生活環境の改善に必要な事業である。その根幹となる下水道の建設等を実施し、事業効果を考慮しながらコストの縮減を図り事業を進めることができた。また、総合治水対策事業の取り組みとして、土木課と連携し、特定都市下水道事業を進めることができた。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	公営企業の資産に該当する事業であるため適切に管理を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	適切な資産管理が可能となるように公営企業会計として適切な運用を行う。また、老朽化対策、地震対策等の改築事業を実施し、雨水対策等の下水道施設の建設事業を行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等